

若者のワクチン接種、メリットとデメリットの考え方

○ワクチンは若者の健康、命を守る

ワクチンの接種を受け、免疫ができることによって、感染や発症の確率を大きく減らすことができます。また、仮に感染したり発症してしまったとしても、**症状のある期間が短くなったり**、重症化を防いだりする効果も期待できることがわかっています。

○高齢者や持病のある家族を守る

ワクチンが守るのは、接種を受ける本人だけではありません。自分自身がワクチン接種を受けることで、感染しにくくなり、仮に感染してしまっても**ウイルスの量を低く抑える効果**が知られているため、同居する家族や日常的に接する友人、同僚を守る効果も期待できます。身近に重症化リスクの高い持病のある人や高齢者がいれば、なおさらワクチンが重要になると言えます。

○安全で安心感のある学生生活を取り戻し、生活を正常化する

ワクチン接種を受けるメリットは、自分が生活する地域全体にももたらされます。地域でより多くの方がワクチン接種を受けることによって、その地域の新型コロナウイルスに対する防御は高まり、感染伝播が減っていくこととなります。感染流行が収まれば、2019年以前の学校生活や学校外での生活を取り戻すことができます。

○変異ウイルスが誕生する確率を減らすことができる

いち早くワクチンが広がり、感染する人が減れば減るほど、変異ウイルスが誕生する確率を減らすことができます。

より多くの方がより早い段階でワクチン接種を受けることで、新たな変異ウイルス出現のリスクという点でもより安心した未来を描くことができるようになるのです。

○リスクはあるが軽いものにとどまる

ワクチンにはデメリットもあります。若いの方が、高齢の方より副反応の頻度が高い傾向にあるようですが、ほとんどが2～3日以内に回復しています。

○ワクチンのリスクと感染症のリスクを比べる

ワクチン接種の選択は、ワクチンを受けるか、いずれ新型コロナウイルスに感染してしまうかの選択になるということです。感染のリスクは、重症化や長期にわたる後遺症のリスクでもあります。ワクチンのリスクを考えるなら、ウイルスのリスクと比べる必要があります。

※厚生労働省 HP「若者のワクチン接種、メリットとデメリットの考え方」より抜粋